

# 競技注意事項

## 1、規則

- ① 競技は2014年(公財)日本陸上競技連盟規則、及び本競技会要項、申し合わせ事項によって行う。
- ② 全ての100m競技(100mHは除く)については、予選タイムレースとし、上位8名による決勝を行う。  
100m競技以外のトラック種目については、すべて記録会形式により順位を決める。
- ③ 走り高跳を除くフィールド競技種目については、トップ8により、残り3回の決勝試技を行う。(通常の競技会形式)

## 2、練習

- ① 競技場内での練習は、トラックについては8時30分まで、フィールドについては、8時45分までとする。
- ② フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示により、競技場内において行う。  
特に投擲競技(円盤投・やり投)についてはこの指示を厳守すること。  
また、安全に十分注意し競技場外での投てき練習は一切禁止する。
- ③ その他の競技の練習は、練習走路(バックスタント練習走路)及び競技場外とする。
- ④ 特に駐車場でアップは、禁止とする。

## 4、競技場・スパイクピンの長さ

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。
- ② スパイクピンは、9mm以下の使用を厳守する。ただし、走高跳・やり投の場合は12mm以下とする

## 5、招集・入退場

- ① 招集所は、雨天走路内に設ける)
- ② 招集時間及び完了時間は下記の通りとする。

種目	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始30分前開始	競技開始15分前完了
フィールド競技	競技開始45分前開始	競技開始30分前完了

- ③ 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人(代理人は認めない)が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。  
点呼を受けた競技者は競技者係の誘導・指示により、スタート位置又は試技を行う場所に行く。
- ④ トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右腰後部につけること。  
(リレーは第4走者のみ)
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。  
**(スタート地点・競技場所に招集所の確認がなく集合した場合、出場を認められない。)**
- ⑥ 競技場への入場については競技者係の指示に従う。  
トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に渡し、フィニッシュ側階段から各チーム待機場所に戻る。  
フィールド競技は、競技終了後競技役員の指示で競技場から退場する。

## 6、ナンバーカードおよび腰ナンバーカード

- ① ナンバーカードは、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅をしっかりとつける。  
ただし、走高跳・走幅跳は胸または背だけでよい。
- ② トラック種目については、招集所において渡された腰ナンバーカードを右腰後部につける。  
(ただし、リレーは第4走者のみとする。)  
腰ナンバーカードは、フィニッシュ後、直ちに返却すること。

## 7、3000m・5000m競技のスタート方法について

一般高校男子5000m・一般高校女子3000m・中学男子3000m競技は、グループスタートを採用する。  
その場合のスタート方法は、各組のレーン番号の2/3までが内側スタート、残りの1/3が外側スタートとなる。  
なお、スタート10m以内には内側・外側を分離する縁石は設置しない。

8、オープンレーンについて

全ての800m競技は、ブレイクラインの交差する直前の各ライン上に黄色の角柱(もしくは代用縁石)を置く。

9、走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。(天候、その他諸事情・条件によって変更する場合もある)

競技種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	備考
中学男子走高跳	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後の高さは、 審判長の指示による。
中学女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	
一般高校男子走高跳	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	
一般高校女子走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	

10、リレー競技について

- ① リレー競技のオーダー用紙は、その競技の招集完了時刻の1時間前までに、招集所に2部提出する。  
オーダー用紙は招集所に準備してあります。  
なお、オーダー用紙を規定時間内に提出していないチームは、棄権したものと処理する。
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ③ リレーのマーカの使用は1カ所とする。(第170条⑩を適用)

11、表彰

各種目3位まで表彰を行う。

各種目3位まで入賞した競技者は、記録結果発表後に表彰を行うので、速やかに本部前に集合する。

なお、入賞した競技者が集合できないとき(他の競技中など)は、代理の者が表彰に参加する。

12、記録

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への公認申請を行います。
- ②トラック種目の競走競技はすべてのレースにおいて、写真判定(電気計時)を採用する。

13、競技からの除外(競技会実施要項8、参加制限 参照)

- ① 審判長は、競技運営上必要と認めた場合、レース圏外の競技者のレースを中止させることがある。
- ② 参加標準記録を設定している下記種目で、トラック競技については最終周回通過時のタイムが、指定された時間を超過している場合、制限時間オーバーとして、競技の中止。また中学男女走幅跳競技については試技記録がその記録に到達していない場合、記録なしとして、記録測定の除外対象とします。(ただし試技が失格以外、一回は記録測定します。)  
☆一般高校男子5000m 17分30秒以内【16分30秒】、☆一般高校女子3000m 12分30秒以内【11分30秒】  
☆中学男子3000m 11分30秒以内【10分30秒】、 ☆中学女子1500m 5分45秒以内【4分45秒】  
\*【 】内の時間が最終周回通過時のタイムである。  
☆中学男子走幅跳 4m00以上、 ☆中学女子走幅跳 3m50以上

14、抗議

抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出。(記録結果発表後30分以内)

15、その他

- ① プログラム記載内容の訂正は、両日とも8:30までに総務へ申し出ること。  
以後の訂正については、主催者側の誤編成・誤記等以外は受け付けない。
- ② 控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努める。  
(各団体・学校の責任者及び顧問の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしく願います。)
- ③ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。
- ④ グラウンドには、競技者・競技役員以外は入ってはいけない。  
競技者は、フィールドを横断して試技場所への往復、本部前通行は厳に慎むこと。  
(スタンド及び陸上競技場外周路を通過、スタート地点・競技場所に移動する)  
チームメイトのウェアなどを受け取りに、競技者以外がグラウンドに入ることを認めない。
- ⑤ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。  
競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
- ⑥ 総合競技場以外の柏の葉公園内施設は、借用していないので立ち入らないこと。